
特集 人工臓器の最近の進歩とケアリング

【巻頭言】

谷岡 哲也 (徳島大学大学院医歯薬学研究部看護管理学分野)

土井 俊夫 (徳島大学大学院医歯薬学研究部腎臓内科学分野)

わが国における人工臓器に関わる研究は、人工腎臓、人工心肺装置、人工弁、人工血管、体外設置型補助人工心臓、植込み型補助人工心臓、アフエレス、人工臍臓、人工関節、ペースメーカーなどが行われており、最近では介護ロボット開発にも注目されています。現在の医療にとって今や人工臓器なしでは考えられないほどの発展を遂げ、理想的な人工臓器を目指した取り組みがなされています。今回の企画はこの人工臓器というものを会員の方々に理解して頂き、さらに最近の進歩を学習して頂く事を目的といたしております。

人工臓器で最も進歩しているのは人工腎臓であり、その歴史と現状および将来の展望について水口先生に解説して頂きます。人工肺は最近最も発達し、成績がよくなっている分野ですので、その解説と将来性について大藤先生に講演頂きます。人工臍臓も最近めざましく発達した分野であり、1型糖尿病の治療そのものに変革をもたらしておりますので、その現状のご講演を黒田先生にして頂きます。最後に介護ロボットの必要性と現状についてDr. Locsinに発表して頂き、皆さんに人工臓器の現状と将来の展望を理解頂ければと考えております。